

# 「失敗する」学校。

どの高校に進学しても、過ごす時間は平等。**3年間**っていう時間は決められている。

でもね、それを**どう過ごす**のか、この時間を**どう使う**のか、**どう使いたい**のか、

それを**決める**のは、僕たちなんだ。後悔のない生き方を選ぶのは、**自分自身**なんだ。

たとえ、何かに挑戦して、結果的に**失敗**に終わったとしても、その経験って**無駄じゃない**んだ。

自分が**やりたかったこと**なんだから、僕たちの中に、その価値は残り続けていくと思うよ。

蒜校には、そんな時間がある。だから、**さあ、一緒に旅立とう。**

僕たちの、「**破天荒なミライ**」に向かって。

(卒業生 H・Kくん)



## 岡山県立勝山高等学校<sup>ひるぜん</sup>蒜山校地 生徒全国募集

全国募集(令和7年度入学生・予定)選抜日時:令和7年2月5日(特別)／3月11・12日(一般)

令和7年4月「真庭市学習交流センター」(寄宿舍併設・定員20名)が完成します。

詳細は裏面の担当までお問い合わせください。

わかるまで、納得するまで。少人数の学校だからできる、  
きめ細やかな学習／進路／生徒指導。



蒜山校地は「複数担任制」です。単純に計算しても、常勤教員1人あたりの受け持ち生徒数は、何と6人!

さらに、2年生からは「総合進学(3年次でA系・B系に分かれる)」「地域創造(人文・社会)」の2コース4系統に分かれ、個に応じた指導が一層充実します。さらに、充実したICT環境を活かして、大学・他の高校と連携した講義も受講できます。



上：勝山校地からの  
「化学基礎」遠隔授業。  
左：鳥取大学からの遠隔講義。



地域が教室になる。「持続可能な社会の実現」を目指す、  
学校設定教科「Community building Project = CP」。

10年後、20年後の自分の姿を考えたとき、SDGsは決して「他人事」ではありません。私たちは、地域社会の方々と協働しながら、「CP I～III」の活動を通して、私たち自身の未来について考えています。

選択できる自由。

生徒が主体となって、

ゼロから作ることもできる部活動。



蒜校は少人数であるために、いわゆる「団体競技」の活動はできません。そのかわり、生徒自身が主体となって、自分たちが活動したい「同好会」を、すぐに作るすることができます。現在、「球技同好会」が活動中です。さあ、あなたも、「初代会長」になってみませんか？



69色の個性が輝く。みんな、違う。だから仲がいい。

在校生に、「蒜校のいいところは？」と訊くと、「先輩・後輩の仲がいい」「先生方との距離が近い」といった答が返ってきます。地元・蒜山だけでなく、全国の様々な中学校から、そして多様な経歴を持った教職員も、蒜校に集まっています。「田舎の小さな高校」という既成概念にとらわれない、豊かな3年間がここにあります。

## 岡山県立勝山高等学校 蒜山校地

〒717-0505 岡山県真庭市蒜山上長田4

TEL:(0867)66-2016 FAX:(0867)66-4221

E-mail: katuyama-hiruzen@pref.okayama.jp

☆学校説明は随時実施します。まず、お電話ください。(担当:副校長・吉田、広報・内田)